ウ　自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫すること。

エ　相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。

オ　論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりすること。

カ　視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。

キ　互いの主張や論拠を吟味したり，話合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど，考えを広げたり深めたりしながら，話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。

(2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア　聴衆に対してスピーチをしたり，面接の場で自分のことを伝えたり，それらを聞いて批評したりする活動。

イ　他者に連絡したり，紹介や依頼などをするために話をしたり，それらを聞いて批評したりする活動。

ウ　異なる世代の人や初対面の人にインタビューをしたり，報道や記録の映像などを見たり聞いたりしたことをまとめて，発表する活動。

エ　話合いの目的に応じて結論を得たり，多様な考えを引き出したりするための議論や討論を行い，その記録を基に話合いの仕方や結論の出し方について批評する活動。

オ　設定した題材について調べたことを，図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ，聴衆に対して説明する活動。

B　書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組合せなどを工夫して，伝えたいことを明確にすること。

イ　読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して論理の展開を考えるなど，文章の構成や展開を工夫すること。

ウ　読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫すること。

エ　自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫すること。

オ　自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫すること。

カ　読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。

(2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア　社会的な話題や自己の将来などを題材に，自分の思いや考えについて，文章の種類を選んで書く活動。

イ　文章と図表や画像などを関係付けながら，企画書や報告書などを作成する活動。

ウ　説明書や報告書の内容を，目的や読み手に応じて再構成し，広報資料などの別の形式に書き換える活動。

エ　紹介，連絡，依頼などの実務的な手紙や電子メールを書く活動。

オ　設定した題材について多様な資料を集め，調べたことを整理したり話し合ったりして，自分や集団の意見を提案書などにまとめる活動。

カ　異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを，報告書などにまとめる活動。

3　内容の取扱い

(1) 内容の〔思考力，判断力，表現力等〕における授業時数については，次の事項に配慮するものとする。

ア　「A話すこと・聞くこと」に関する指導については，40～50単位時間程度を配当するものとし，計画的に指導すること。

イ　「B書くこと」に関する指導については，90～100単位時間程度を配当するものとし，計画的に指導すること。

(2) 内容の〔思考力，判断力，表現力等〕に関する指導については，次の事項に配慮するものとする。

ア　「A話すこと・聞くこと」に関する指導については，必要に応じて，発声や発音の仕方，話す速度などを扱うこと。

イ　「B書くこと」に関する指導については，必要に応じて，文章の形式などを扱うこと。